



朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間の知性に富む人間の育成をめざします。



毎月1日発行  
編集・発行  
朝日大学  
企画課

http://www.asahi-u.ac.jp/

# 故岩山学長お別れの会

## 功績を偲び、関係者が献花

10月4日(土)午後2時から、本学穂積キャンパス10周年記念館大ホールで、去る8月31日(日)逝去した岩山幸雄前学長を偲び、教職員、学生等で同氏を送る「お別れの会」が行われた。法人役員、教職員、学生、岐阜県の政界、経済界関係者及び氏と生前親しかった歯科医学界の方々等約1,000名が出席した。(岩山先生の想い出の写真、追悼の言葉など2面に関連記事)



お弟子さんたちの代表として澁谷俊昭教授(歯周病学分野)、最後に学生代表(歯学部6年渡邊竜太さん、歯科衛生士専門学校2年箕浦洋子さん)からそれぞれ述べられた。

場内には在りし日の岩山学長の姿がスクリーンに映し出され、本学体育会所属の12のクラブが入場し、祭壇の前で部旗を用いて哀悼の意を表した。引き続き参事会者全員による献花が行わ



お別れのことばを述べる宮田侑理事長

れた後、学歌斉唱により岩山先生を参事会者全員で送った。最後に竹内宏実行副委

員長から参事会者へのお礼の言葉が述べられ「お別れの会」は閉会となった。

当日は秋晴れで、岩山先生の旅立ちを天も見送っているかのようであった。



「お別れの会」には、学内外から約1,000名の参事会者があった

# 大友克之 新学長 就任

岩山学長の急逝を受け、10月4日(土)、臨時理事会が開催され、新しい学長に大友副学長を選任した。任期は、岩山前学長の残任期間である2010年3月31日まで。(2面に関連記事)

理事会は、10月4日12時から、本学穂積キャンパス1号館大会議室で開催され、朝日大学学長等の選任

新学長は1966年生まれ。昭和大学医学部卒業、順天堂大学大学院医学研究科修了。医学博士。専門は整形外科学、骨のがん。2000年4月本学歯学部助教授、2004年7月教授に就任。1999年4月から歯学部附属村上記念病



大友克之 新学長

院副病院長、2007年4月に副学長に就任した。超高齢化社会を迎え、教育界を含め、我が国はまっ

たく新しいシステム作りが要求されている。若い学長のリーダーシップが期待される。

# 大友学長の横顔

朝日大学第7代学長大友克之氏は1966年生まれの42歳。1991年昭和大学医学部を卒業後、順天堂大学医学部整形外科科学講座へ入局。1993年から1995年まで国立がんセンター中央病院にて整形外科及び放射線診断部で研修。1997年に朝日大学歯学部講師として赴任。同年には国立医療保健管理研究所(現国立保健医療科学院)にて研修。整形外科医として臨床、病院の運営に携わる一方で、30歳代には宅地建物取引主任者、FP(ファイナンシャル・プランナー)などの異分野の資格を取得したマルチドクター。

学生時代のクラブ活動の経験から2002年4月に朝日大学体育会を創り上げた。創立時には指導者の確保と学生スカウトの先頭に立ち、自ら全国を駆けめぐり、わずか7年でフェンシング、卓球が大学頂点を極めていた。またバレーボール、自転車競技、ホッケー等7つの

競技種目が来る平成24年岐阜国体の強化指定を受けており、地域との関係構築にも力を注いでいる。岐阜県テニス協会の会長職を務め、テニス、野球、バレーボールなど日本のトップアスリートとの交流も深い。

趣味は音楽と登山。父親の影響で幼少の頃より日本アルプスを歩き、高校時代にはボーイスカウトの日本代表として顕彰された。18歳から白馬岳山頂に開設される夏季診療所のボランティアとして毎夏入山しており白馬村関係者との親交も厚い。2003年には白馬岳大雪渓を単独登山中に落石事故に遭い下腿を骨折し、



新学長として出迎えを受ける大友学長

附属村上記念病院で手術を受けたことは記憶に新しい。今後は、学長として益々多忙を極めることになりそうだ。ラグビーで鍛えたその体力でわれわれの期待に大いに応えてくれることだろう。

【お別れのことば】  
故岩山幸雄学長 お別れの会が、本日ここに執り行われるにあたり、朝日大学を代表し、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

推し進める「学長」、そして、何事にも和をもって尊び、「朝日大学を誰よりも愛した人」であった。お別れの会では、大友実行委員長の開会の辞、黙祷に続き、宮田侑理事長から岩山学長の功績を讃え、また、人柄を偲ぶ「お別れのことば」が述べられた。



花束を受けた大友学長

## 故 岩山学長を偲ぶ

「結果やで」が口癖であった岩山学長。研究重視だった黎明の「歯周病学」で臨床の重要性を強調し、そのための研究で自らが行く納得が行くまで向き合った「研究者」、患者さんからの絶大な信頼と人気を誇った「歯科医師」、学生らを自宅に招き深夜遅くまで熱心に指導する「教育者」、大学改革を勢力的に

「結果やで」が口癖であった岩山学長。研究重視だった黎明の「歯周病学」で臨床の重要性を強調し、そのための研究で自らが行く納得が行くまで向き合った「研究者」、患者さんからの絶大な信頼と人気を誇った「歯科医師」、学生らを自宅に招き深夜遅くまで熱心に指導する「教育者」、大学改革を勢力的に

推し進める「学長」、そして、何事にも和をもって尊び、「朝日大学を誰よりも愛した人」であった。お別れの会では、大友実行委員長の開会の辞、黙祷に続き、宮田侑理事長から岩山学長の功績を讃え、また、人柄を偲ぶ「お別れのことば」が述べられた。

【お別れのことば】  
故岩山幸雄学長 お別れの会が、本日ここに執り行われるにあたり、朝日大学を代表し、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

本学の「建学の精神」のひとつである国際交流にも大いに貢献して下さいました。特に、1985年、姉妹校である中国の北京大学口腔医学院へ、また、1993年にはメキシコ州立自治大学との姉妹校締結のため、先生とご一緒したことが思い出されます。中国では、アルコール度数が50度もある「マオタイ酒」を酌み交わし、メキシコでは強いテキーラを飲みながら、時の経つのも忘れて私たちは色々なことを語り合いました。その後、先生は海外からの研究者を、積極的に大学へ受け入れました。その彼らは、のちに母国で指導者として



体育会所属の12のクラブが部旗で哀悼の意を表す

先生は、1981年、大阪大学から、歯周病学講座の教授として着任されました。創立10周年という、まだまだ草創期と言える岐阜歯科大学の礎づくりに寝食を忘れて打ち込んでおられました。そのお姿を昨日のごように想い出しております。

先生と出会ってから4半世紀余が経過しました。2005年には副学長、さらに2007年からは学長として全学の舵取り役を先生にお願いました。

その間、様々な困難や問題に直面され、苦勞を重ねられたことと思います。しかし、どんな状況下にあっても先生の飄々とした、悠揚追らぬ語り口や態度は、私たちにほのぼのとしたやすらぎと安心感を与えてくれました。争い事や競争を好まず、先生はまさに大人(たいじん)でありました。

先生と出会ってから4半世紀余が経過しました。2005年には副学長、さらに2007年からは学長として全学の舵取り役を先生にお願いました。

その間、様々な困難や問題に直面され、苦勞を重ねられたことと思います。しかし、どんな状況下にあっても先生の飄々とした、悠揚追らぬ語り口や態度は、私たちにほのぼのとしたやすらぎと安心感を与えてくれました。争い事や競争を好まず、先生はまさに大人(たいじん)でありました。

今ここに、先生にお別れの言葉を申し上げなければならぬ、ということば、誠に痛恨の極みであります。残された私たち一同は、先生のご遺志を忘れず、朝日大学発展のため、全職員一丸となって全力を挙げることを誓い、お別れの言葉とさせていただきます。



会場入口には在りし日の岩山学長が紹介された

岩山先生やすらかにおやすみください。さようなら。  
学校法人 朝日大学  
理事長 宮田 侑

今ここに、先生にお別れの言葉を申し上げなければならぬ、ということば、誠に痛恨の極みであります。残された私たち一同は、先生のご遺志を忘れず、朝日大学発展のため、全職員一丸となって全力を挙げることを誓い、お別れの言葉とさせていただきます。

の優れたバランス感覚は必要不可欠であり、これからというときに病魔に倒れたことは、先生の手腕を大いに期待していた私たちにとって返す返すも無念なことでありませう。



ご遺族をはじめとして参会者が献花